

平成20年度オオタカ保護連絡会議の開催について

平成20年10月24日に、「オオタカ保護連絡会議」を開催し、平成20年のモニタリング結果について報告し、平成21年のモニタリング計画について御検討頂きました。

この連絡会議は、専門家の方々からの「オオタカ保護策の提言」に基づき、モニタリングから得られた情報が速やかに猛禽類の専門家、地元自然保護団体、行政機関などに提供され、適切な対応を図られることを目的に、平成19年に設置されたものです。

【連絡会議への報告・検討結果】

平成20年のモニタリング調査は、事業団が行なう現地調査に自然保護団体の皆さんも参加していただき、情報を共有する中で3月～7月の期間に実施しました。その結果、これまでと同じ営巣木で、オオタカの繁殖（推定2羽）が成功したことが確認されました。

また、処分場の建設工事による影響は確認されませんでした。

平成21年度のモニタリング調査については、次の方針のもと実施していくことが決まりました。

- (1) 従来の営巣地における繁殖状況を確認する
- (2) 処分場建設地周辺のオオタカの生息、繁殖の有無を確認する
- (3) 地元自然保護団体との情報の共有を行ないながら合同調査を実施する

明野廃棄物最終処分場オオタカ保護連絡会議名簿

【委員】

中村	司	山梨大学名誉教授 日本野鳥の会甲府支部名誉会長
青木	進	山梨県猛禽類研究会会長
宮崎	紘	明野の野鳥を観る会会長
柴山	裕子	明野の自然を観る会代表
比奈田	善彦	北杜市生活環境部環境課長
望月	洋一	山梨県森林環境部みどり自然課長
橘田	恭	山梨県森林環境部環境整備課長
石合	一仁	(財)山梨県環境整備事業団専務理事

(事務局) (財)山梨県環境整備事業団